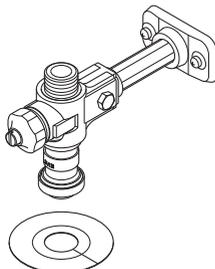


KVK 継手付止水栓取り付け方法

- 施工前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
継手の接続方法については、同梱の説明書をお読みください。

完成図

GDSS-NS (固定金具付)

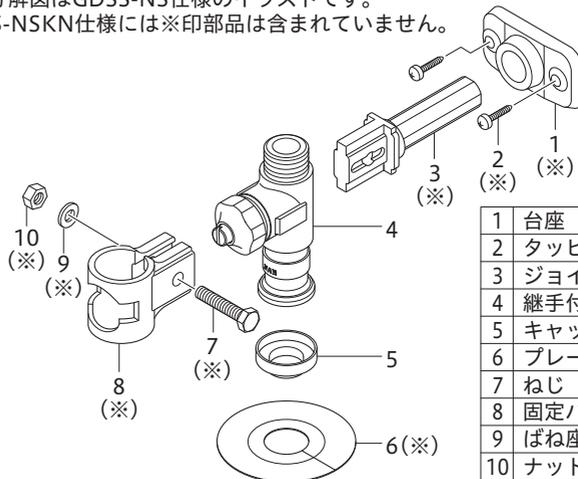


GDSS-NSKN (固定金具無)



分解図

下記分解図はGDSS-NS仕様のイラストです。
GDSS-NSKN仕様には※印部品は含まれていません。



1	台座
2	タッピンねじ
3	ジョイント
4	継手付止水栓
5	キャップ
6	プレート
7	ねじ
8	固定バンド
9	ばね座金
10	ナット

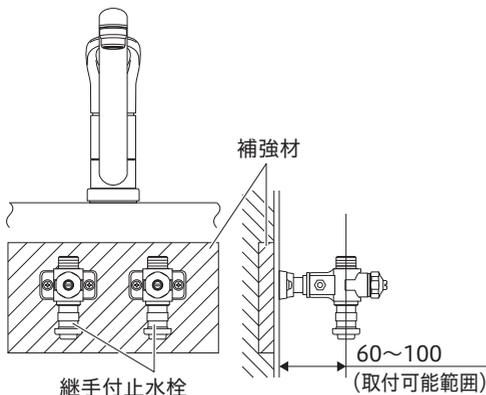
この説明書は、GDSS-NS(固定金具付)仕様のイラストで説明しています。
GDSS-NSKN(固定金具無)仕様の場合は、別途固定金具(Z179036K)をお求めの上、継手付止水栓を固定し、施工をしてください。[※必ず固定金具をご使用ください]

取り付け手順 1

(1) 継手付止水栓の寸法出し

樹脂管の立ち上げ位置と混合水栓の給水・給湯管位置を合わせて継手付止水栓をあてがい、樹脂管の適切な長さを確認ください。

【お願い】継手付止水栓を固定する壁面に補強材が入っていることを確認してください。



(2) 樹脂管の接続

樹脂管を適切な長さに切断して、継手付止水栓と接続します。

樹脂管と継手付止水栓の接続は、同梱の説明書を参照してください。



(3) ジョイント差し込み部の切断

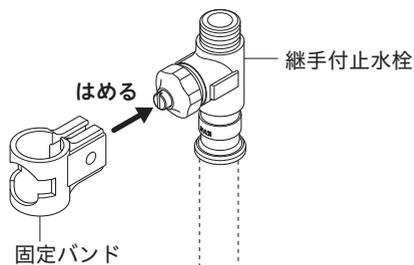
継手付止水栓と壁面までの距離を確認し、ジョイント差し込み部を適切な長さにパイプカッター等で直角に切断してください。



取り付け手順 2

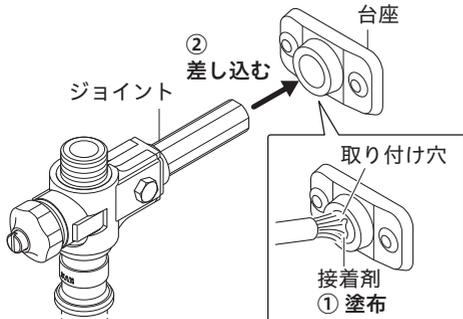
(4) 固定バンドの取り付け

継手付止水栓に固定バンドを広げながらはめます。



(6) 台座の取り付け

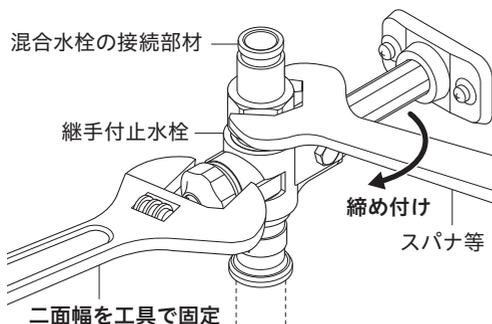
台座の取り付け穴に塩ビ管用接着剤を塗布し、ジョイント差し込み部を差し込んで接続します。



(8) 接続部材の取り付け

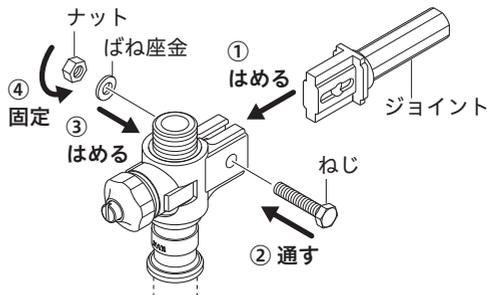
継手付止水栓に混合水栓に同梱の接続部材を取り付けます。

この時、接続部材を手でいっぱいまで締め付けた後、部品の共回りを防ぐため、継手付止水栓の二面幅を工具で固定しながら、接続部材の二面幅にスパナ等をかけて確実に締め付けます。



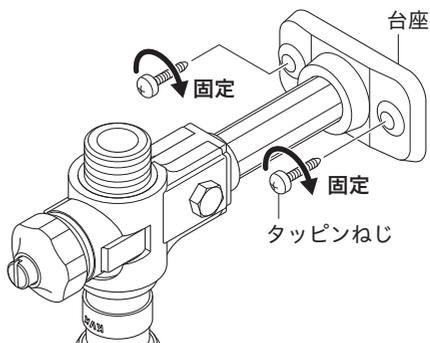
(5) ジョイントの取り付け

固定バンドを広げてジョイントをはめ、ねじを固定バンドに通し、ばね座金とナットでねじを固定します。



(7) 壁面への取り付け

台座をタッピンねじで補強板へ固定します。



(9) プレートの取り付け

床から立ち上がっている樹脂管に、同梱されているプレートをはめ、底面に貼り付けてください。

[寒冷地仕様の場合]

樹脂管の被膜材が一般地に比べて厚いので、プレートの内径をベンチ等で溝に合わせて割り、樹脂管にはめ、底面に貼り付けてください。

